

サポートルーム

学級だより



2024年6月3日(月)
2024年度6月号

特別支援教室拠点校 町田市立町田第三小学校

桜の季節があっという間にすぎ、アジサイの花が色づく時期になってきました。先日はご多用の中、個人面談にお越しくださりありがとうございます。保護者の皆様からお子さんのお家での様子や、今年度の願いを伺い、一緒にお子さんの成長してほしいことや今後の支援方針を考えることができました。季節の移り変わりは体調も崩しやすくなるので、子供たちの健康状態に気を配りながら支援をしていきます。ご家庭でも健康へのご配慮をよろしくお願いたします。

～感覚統合について～

日常生活の中で人は「見る」・「触る」・「聞く」など様々な感覚の情報を同時に感じ取り、その情報を頭の中で整理しながら活動しています。サポートルームでは、子供一人ひとりの感覚の特性を見取り、子供がより良く過ごせるよう支援をしていくために感覚統合を行っています。今回は「いろいろな大きさのボールをキャッチ」する活動を紹介します！

【やり方】

- お手玉サイズの大きさや、ドッジボールのボールの大きさ、四角いクッションの大きさなど、大きさの違うボールやクッションを用意します。
- 用意したボールやクッションを、キャッチボールのように投げ合います。

【ポイント】

- キャッチボールをする距離を長くすると難易度がアップします。
- この活動は力のコントロールや触覚の発達を促すアプローチになります！
- 胸の前でギュッとボールやクッションをキャッチすることで、固有受容覚を刺激し、衝動性を抑えるのに役立つといわれています。



町田第三小学校



低学年「ことばあそび」

お題に合わせて、みんなで言葉を集めました。「か」から始まる言葉では、「カラス・貝・カッパ」などいろいろな言葉を集めることができました。思いつかないときには、「ヒントください。」と言って援助要請をすることができました。

高学年「二人でビンゴ」

お題に合わせてビンゴをする活動をしました。「果物」というテーマでビンゴカードを作成するときには、「リンゴを入れるのはどうですか?」「それいいね。どこのマスに書く?」と上手に相談をすることができました。



町田第五小学校



低学年「箱の中身は何だろう」

箱の中にある物を分かりやすく伝えるために「手触り・形・大きさ」に注目して考えました。スポンジを触り「前がふわふわで後ろがざらざらです。形は四角です。自分の手と同じ大きさです。」と具体的に伝えることができました。

高学年「ジェスチャーゲーム2」

お題に合わせたジェスチャーをペアで行いました。「野球」というお題では、「どっちが打つほうをやる?」や「じゃあ僕が投げる役をやるね。」など相談をしながら練習し、本番では息の合った動きを発表することができました。



南第一小学校



低学年「ならびましょう」

呼ばれた順、身長順、お誕生日順など、様々な順番に整列する活動を行いました。お誕生日を質問し合ったり、背比べでどちらが高いかを調べたりとグループ全員で協力して並び順を考えることができました。

高学年「どんな気持ち」

気持ちを表す言葉を考え、発表していました。また、その気持ちのとき、どんな表情になるのかを考え、同じ気持ちでも人によって違うことなどにも気づきました。ほかの人の理由を聞き、違いを認めることもできました。